



[長野県は「SDGs未来都市」です]



2050ゼロカーボンを目指す長野県のシンボルマークです

令和7年度信州健康ゼロエネ住宅助成金について



しあわせ信州

■ 令和7年度 信州健康ゼロエネ住宅助成金の変更点【新築タイプ】

■ 助成金額

令和6年度

区分	基本額	加算額	助成金上限額
最低基準	50万円（40万円）	60万円（40万円）	110万円（80万円）
推奨基準	120万円（110万円）		180万円（150万円）
先導基準	140万円（130万円）		200万円（170万円）



令和7年度

区分	基本額	加算額	助成金上限額
最低基準	30万円（20万円）	70万円（40万円）	100万円（60万円）
推奨基準	110万円（100万円）		180万円（140万円）
先導基準	130万円（120万円）		200万円（160万円）

- ✓ ZEH基準適合義務化を見据え、より高性能な住宅の普及を図るため、最低基準の助成金上限額を引き下げ
- ✓ 昨年度の申請状況から、より多くの住宅に補助するため、基本額上限額を引き下げ

令和7年度 信州健康ゼロエネ住宅助成金の変更点【新築タイプ】

V2H充放電システム導入に係る加算額の引き上げ

選択項目	
①~⑧のいずれかの要件に該当する場合は、 右欄に掲げる金額を加算(加算額の上限は70万円又は40万円)	
要件	加算額
① 県産木材を0.12~0.16m ³ /m ² 使用	10万円
① 県産木材を0.16m ³ /m ² 以上使用	20万円
② 伝統技能(左官仕上げ壁、国産瓦葺き、県内業者製作の) を活用(木製建具及び畳のいずれか2つ以上)	10万円
③ 太陽熱利用給湯システムの設置(集熱面積4m ² 以上)	10万円
④ 蓄電池の設置(蓄電容量4kwh以上)	10万円
⑤ V2H充放電システムの設置(充電3kw以上、放電3kw以上)	15万円
⑥ 地中熱ヒートポンプシステムの設置(クローズドループ又はオープンループ)	10万円
⑦ 県が定めるゼロエネルギー達成※11	20万円
⑧ 長期優良住宅認定の取得	10万円

令和6年度

加算項目：V2H充放電システムの設置
加算額：10万円

令和7年度

加算項目：V2H充放電システムの設置
加算額：15万円

✓ 2050ゼロカーボンの実現に向け、運輸部門の取組みとして、V2H充放電システムの補助により、間接的にEV普及を促進

令和7年度 信州健康ゼロエネ住宅助成金の変更点【リフォームタイプ】

助成対象住宅

助成対象住宅 以下のいずれにも該当する住宅

- 県内に所在する住宅（住宅部分が1/2以上の店舗併用住宅を含む）
 - 再生可能性エネルギー設備等の導入について検討を行ったもの
- ※賃貸住宅は、空き家バンクに登録済の賃貸用戸建て住宅に限る

令和6年度

助成対象住宅：県内においてリフォーム工事を実施する住宅（賃貸住宅、給与住宅を除く）



令和7年度

助成対象住宅：県内においてリフォーム工事を実施する住宅（賃貸住宅（**空き家バンクに登録済みの賃貸用戸建住宅は除く**）、給与住宅を除く）

- ✓ 空き家対策の一環として、県外移住者から希望が多い賃貸住宅（通称：お試し住宅）の普及を図るため、空き家バンクに登録済みの空家に限り、賃貸住宅を補助対象に追加

令和7年度 信州健康ゼロエネ住宅助成金の変更点【リフォームタイプ】

助成対象工事

①	ZEH化リフォーム		寝室、脱衣室、浴室、トイレ及びキッチンを含む、住宅部分を信州健康ゼロエネ住宅指針*1の最低基準(外皮及び一次エネルギー消費量)以上に適合させる断熱改修等
②	健康省エネ リフォーム*2 (ア又はイ)	ア	浴室及び脱衣室 又は 寝室について 外気等に接する壁、床、天井又は屋根の見付面積10㎡以上の部分を断熱改修(改修部分の合計で可) かつ、外気等に接するすべての建具の断熱改修(既に断熱性能がある建具の改修は不要)
		イ	住宅部分全体の外気等に接する床、天井又は屋根の断熱改修

令和6年度

ZEH化リフォーム：住宅部分を信州健康ゼロエネ住宅指針の最低基準以上に適合させる断熱改修



令和7年度

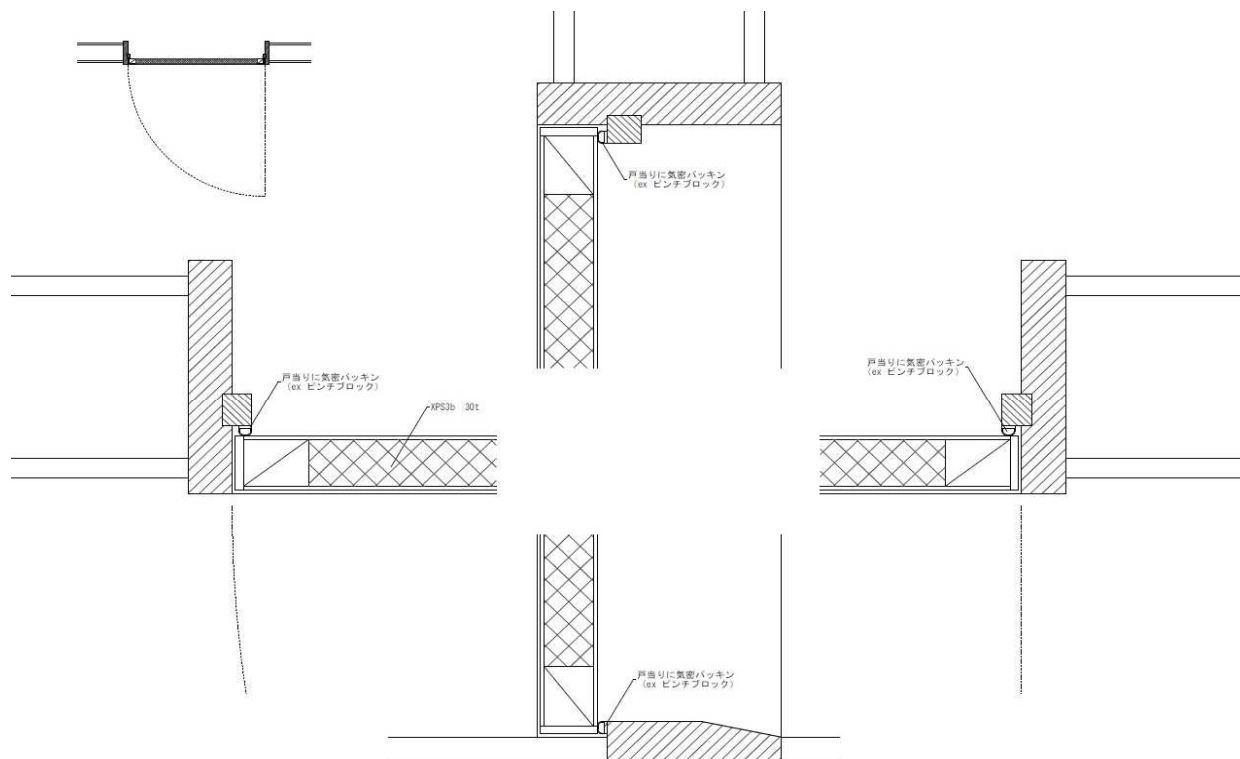
ZEH化リフォーム：寝室、脱衣室、浴室、トイレ及びキッチンを含む住宅部分を信州健康ゼロエネ住宅指針の最低基準以上に適合させる断熱改修

- ✓ 2050ゼロカーボン実現のため、既存ストック住宅の省エネ改修を推進
- ✓ 住宅の「部分ZEH化リフォーム」を助成対象にし、需要の高いリフォーム工事に対応

令和7年度 信州健康ゼロエネ住宅助成金の変更点【リフォームタイプ】

ZEH化リフォームに係る断熱区画部分の内部建具 標準仕様（参考図）

- 住宅の内部で断熱区画を設定するZEH化リフォームを行う場合、断熱区画部分の建具については、一般的な内部建具では効果的に区画ができません。
 - しかしながら、外部建具を使うことも現実的ではありません。
 - そこで、一般的な内部建具とする場合であっても、ZEH化した部分の快適性を担保するため、気密パッキンを施工する方法（下図）を標準仕様とします。
- ※ 信州健康ゼロエネ住宅助成金（ZEH化リフォーム）交付の必須要件ではありませんが、よりZEH化リフォームの効果を高く実感していただくため、ぜひ参考としてください。



※評価方法について

- 標準仕様や、その他断熱材を入れた製作建具とした場合にも、木製建具の数値 ($6.51\text{W}/\text{m}^2\cdot\text{K}$) により評価してください。
- なお、JISに基づく計算を行った場合には、その数値を使うことも可能です。

■ 信州健康ゼロエネ住宅助成金の申請実績

令和7年度

(令和7年5月29日時点)

【新築】

- ・想定件数 現年分210件
- ・実績件数 **現年分：85件/210件 (40%)**
< 最低基準：32件、推奨基準：37件、先導基準：16件 >
- ・平均額 約111万円/件

【リフォーム】

- ・想定件数 現年分80件
- ・実績件数 **現年分：9件/80件 (11%)**
< ZEH化リフォーム：1件、健康省エネリフォーム：8件 >

令和6年度

(令和7年5月13日時点)

【新築】

- ・想定件数 256件 (現年分170件、債務分85件)
- ・実績件数 現年分：176件/170件 (104%) 、債務分：80件/85件 (94%)
< 最低基準：77件、推奨基準：143件、先導基準：36件 >
- ・平均額 約125万円/件

【リフォーム】

- ・想定件数 83件 (現年分110件、債務分17件)
- ・実績件数 現年分：70件/110件 (63%) 、債務分：13件/17件 (76%)
< ZEH化リフォーム：8件、健康省エネリフォーム：75件 >